



特に、いきいきサロン事業につきましても、現在33地区で開催されておりありますが、町内全地区での実施を目標として積極的に推進してまいります。



水川町国民健康保険財政健全化計画に基づき、国民健康保険事業の円滑な運営に努めてまいります。

臨時福祉給付金給付事業（経済対策分）につきましては、平成29年4月から平成31年9月までの2年6ヶ月分を平成29年度で支給することとなっております、その事務を執行してまいります。



水川町公民館ならびに宮原歴史資料館が熊本地震により被災しておりますので、その補修工事を行います。

屋内ゲートボール場およびクラブハウスの外装が劣化しておりますので、改修を行い、施設の長寿命化を図ります。

国指定史跡である野津古墳群ならびに大野窟古墳の保存管理と活用について、研究協議を行っておりますが、

町社会福祉協議会の地域福祉計画および組織改革計画を踏まえ、町社会福祉協議会の改革と行政、民間施設、医療機関と連携を図り、地域で支える医療介護福祉の環境づくりを進めてまいります。

さらに、医療費の適正化と疾病予防のために、住民健診の受診率の向上と管理栄養士を活用し、保健予防活動を充実強化してまいります。



年度内に報告書を策定いたします。

併せて、熊本地震で被災した大野窟古墳石室の被害状況調査を行うとともに、復旧計画の検討を行います。

水川町体育協会ならびに総合型地域スポーツクラブ「ひかわスポーツクラブ」の組織の強化と会員の拡大を目指して、相互に連携を図りながら、社会体育と文化の振興に向けた支援を行います。



人を育む教育の振興

新規事業として、老朽化しております竜北東小学校ならびに竜北西部小学校のプールを改修したいと考えており、実施設計書の内容を精査したうえで、6月議会に工事費予算を計上する予定です。

継続事業として、町内小中学校にICT機器（電子黒板、タブレットなど）およびICT支援員を1名増員し、2名体制で学習支援を行うことで教育環境を充実し、魅力ある学校づくりと学力向上を図ります。

継続して、県費教職員を指導主事として本町に配置し、教職員の授業力向上および学級経営、生徒指導などへの指導助言とともに、本町教育の特色であるコミュニティスクールの取り組みを推進してまいります。

全小中学校における要支援児童生徒への教育支援を行う要支援児童生徒教育支

安全で快適な生活環境のまちづくり

総合振興計画・地区別計画に基づき、実施設計および用地取得を進めてきた新村中塘公園整備を行います。

地球環境への負荷軽減による自然と共生するまちづくりを目指して、太陽光発電施設などの費用助成を行う住宅用新エネルギー等導入促進事業を継続して取り組めます。

生ごみ減量化をめざした電気式生ゴミ処理機購入助成は、継続して実施することとし、町民の皆さまへの意識醸成と具体的な啓発活動を積極的に推進してまいります。

海洋環境保全に資するとともに、河川環境保全への波及効果をめざして、海岸漂着物および漂流・海底ごみの回収処理事業を実施します。

八代市が建設予定の新たな環境センターでの広域処

援事業および地域ぐるみで学校運営を支援する学校支援地域本部事業も継続して取り組んでまいります。特に、特別支援教育支援員につきましても、1名増員し、本年度は11名体制で支援してまいります。



学校給食における地元食材の活用を図るための助成ならびに各学校の図書購入費は継続して上乗せ補助を行い、学校施設補修と教材備品の購入については、学校現場の要望を尊重して進めてまいります。

理につきましては、現在、水川町、八代市、八代生活環境事務組合の3者による協議を実施しておりますが、定款変更を見据えたさらに踏み込んだ協議を重ねてまいります。

防災・防犯対策といたしましては、熊本地震を踏まえて一部見直した水川町地域防災計画に基づく対応を徹底するとともに、新たに15地区において地区別防災計画策定を行います。

防災行政無線デジタル化の実施設設計書に基づき、計画的に整備を進めるとともに、すでに整備した防災備蓄倉庫における災害対応資機材および食糧などの備蓄を計画的に進めてまいります。

八代広域行政事務組合消防分署建設基本計画に基づき、鏡消防署水川分署の建設を行うとともに、同敷地内に防災備蓄倉庫を新設します。

消防団および自主防災組織を核とした地域防災体制

小学校部活動の社会体育移行については、町の基本方針を示して協議を重ねておりますが、一部のクラブ活動では、本年4月から移行されることとあり、その活動を参考にしながら平成30年度の完全実施に向け、さらに協議を進めてまいります。

幼児期における質の高い保育・教育を支援するため子ども・子育て支援事業計画および新次世代育成支援対策行動計画を策定しましたので、その計画に基づき事業を執行し、すべての子どもと子育て家庭が安心・安全・健康に暮らせる町を目指してまいります。

八火図書館も多くの町民の皆さまにご利用いただいておりますが、今後も蔵書数を増やすとともに、本施設を中核として学校図書館との連携を図りながら積極的に図書活動を実施してまいります。

特に消防団につきましても、団員の確保に努めるとともに、消防活動資機材および施設整備を行い、活動環境の充実と改善を図ります。

下水道事業については、竜北地区の事業については、施設整備の最終年度となりますので、財源の確保と適正な事業の進捗を図るとともに、宮原処理区の八代北部流域下水道への編入に向け、



下水道事業については、竜北地区の事業については、施設整備の最終年度となりますので、財源の確保と適正な事業の進捗を図るとともに、宮原処理区の八代北部流域下水道への編入に向け、